

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2018年5月1日 176号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

New Wind to Leda



(左より) 吉村氏、園田君、野村君、福島さん、河野さん、笠木さん。4月6日

開拓地レダに吹き込んで来た希望の新風！

レダ基地における青年たちの存在は、若々しい希望の新風を吹き込んでくれています。彼らはそれぞれに個性豊かな性格で、その特性を生かした分野での活躍は頼もしいです。

●木村君「レダは本気で自分と向き合える所であり、自分を試せる場所であり、人格的に成長できる最高の場所だ。」自分への天の願いが何かを探し求めながら、現在豚の世話を専念。道路事情が悪いため、レダ基地から毎日ボートで四キロ離れた豚ランドまで通っています。特に川岸から豚ランドへの二〇〇メートルは、数十センチの水かさがあつて歩くのも大変です。

●梶本君「自然が豊かで、あらゆる可能性を秘めている場所だ。現在、奥迫夫妻の手伝いをしながらエビの養殖と取り組んでいます。责任感の強い青年。美味しいパンを焼いてくれます。」

●笠木さん「レダは、文先生夫妻の開拓精神と愛の伝統を相続できる場所だ。生きてお会いできなかつた文先生にたくさん出会うことができる所だと感じる。また自然を通じて神様の愛を感じる。」室内の掃除や整理、野菜作りなどで奉仕をするほか、工夫を凝らして好みの料理を作り、皆を楽しませてくれています。

●河野さん「レダは、本当の意味で人間と自然が共存できる場所だ。愛は何より大切だが、技術や資金もレダ開発には必要だ。」

●福島さん「地獄の地から駆け上がり、理想郷勝利の道のりを感じる所だ。」皆と協調性豊かに歩もうとしています。

●園田君「レダは、自分を成長させてくれる訓練場だ。先輩方や労働者たちを通じて学べることが多いので、素晴らしいものを感じる所だ。」

●野口君は、リンゴ栽培を日本で行つて来ました。レダでは花壇の世話や、アセロラ畑の木の剪定を行つてくれました。今は養蜂に力を入れていて、蜂箱を置いてある場所までかなりの距離を小まめに歩いて通い、蜜蜂の世話をしています。

●奥迫夫妻は、エビの養殖に集中しています。エビの餌づくりをどんどん吸収して自分のものにして行きたい。」

●この若者たちの心に共通なのは、皆様の支援を通して開拓が進んでいくと実感すること、そして日本で支援してくださる方々に感謝の思いでいっぱいだということです。（伊達記）

レダの若者たち



3名の到着を歓迎。シストさんは52歳の誕生日。3月28日



日本から着任した若者たちが、朝礼であいさつする。3月29日



日々草と百日草を手に、笠木さん。



養蜂に情熱を燃やす野口君。



豚ランドで共に働く木村君と従業員。



パン作りに腕をふるう笠木さんと梶本君。



展望室の窓を修理する水落氏。



小橋氏から調理を学ぶカタリーナさん。



エビ養殖研究施設にて、梶本君と奥迫君。



トウガラシを育てるジョーンズ氏。



レタスを収穫する大和田氏。

第二十一回環境問題研究会を開催

街道ふるさと館三階の第二会議室において、第二十回環境問題研究会を開催し、30名が参加しました。

北里大学名誉教授であられ、公益財団法人農業・環境保全センター長

境・健康研究所 農業大
学校 校長を務める、陽捷
行（ひなみいづゆき）先生



熱心に聴講した参加者たち(大山街道ふるさと館)



語る陽捷行先生(3月17日)

「土壤とノーベル賞」などのサブテーマを掲げ、闊達に、またユーモアを交えながら語られました。宗教では、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、仏教、道教、儒教、神道、ヒンドゥー教各々が有する土・土壤の深義を、本邦初公開のパワーポイントで解説。神話では、メソポタミア神話、エジプト神話、ギリシャ神話等に表れる「土」について、時間を惜しみながら語られました。

次いで、質疑応答の時間では、生物多様性の三つの意義、里山や鎮守の

会議室において、第二十
にも珠玉の講義をされたた
れ、公益財団法人農業・環
境・健康研究所、農業大
学校校長を務める、陽捷
行（みなみかつゆき）先生。
講演テーマは、「世界の宗
教と神話に土壤を
読む」で、この切り口か
らご自身の生涯の研究分
野である土壤について、
「文化土壤学ノススメ」
「地球生命圏ガイア」
「世界の主な宗教と土壤」
「世界の神話と土壤」
「世界の文明と土壤」

第十六回パンタナール一日研修会を開催

杜（もり）木十士などについても触れました。最後は恒例の記念撮影をし、午後三時半、和やかに閉会しました。この講義の詳細については、環境問題研究会がまとめた別紙報告文をお読みください。



2018/01/10

（もり）木十士）などについても触れました。最後は恒例の記念撮影をし、午後三時半、和やかに閉会しました。この講義の詳細については、環境問題研究会がまとめた別紙報告文をお読みください。

第十六回パンタナール一日研修会を開催

四月十四日（土）午前十時より、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、国際交流棟において、当法人とNPO地球の緑を守る会の共催により、第十六回パンタナール一日研修会（ワンドイセミナー）を開催し、80名が参加しました。

空は晴れ、若葉の繁る桜並木の代々木。セミナー会場は満席で、スタッフは立席になるほどの盛況。特に今回は、若者たちの姿が目立ちました。

プログラム一番は、柴沼理事による「レバレンジ・ムーンの思想とレダ開発」。日本で指導的地位にあつた壮年・熟年の先輩たちが、パンタナールにおいて天下一等の筋肉労働者になろうと、血と汗と涙で福地建設に貢献してきた、これまでの18年余りの開拓歴史を、写真と動画を駆使して解説。ある意味では壮絶な内容を、愛と喜びの実話として紹介しました。

午後一番は、地球の緑を守る会の高津代表理事による野外講義。前庭のタブノキの下では、人の生



明治神宮に復元した自然本来の森。(撮影=小田)

（撮影=小田）

明治神宮に復元した自然本来の森。（原野で最高峰の品質の蜂蜜生産を目指す青年。塩水で成長するエビの養殖のため、パラグアイと韓国の大学教授の協力も得て、日夜研究に没頭する若い研究者とその夫人。新しい風が吹くレダ基地です。中期ボランティアとして昨年八月からレダで奉仕してきた三宅君は、「何を思つて行つたか」「何をしてきたか」「何を学び、何を感じたか」一番印象に残ること（『先生たちの姿』）などを簡潔かつ率直に報告。さらに「特別映像」として『豚マツサジ』『泳ぐ豚』が圧巻でした。後ほど、年配の参加者から、「素直に聴けて、世代間の距離が縮まりそうな思いがした」との感想も聞かれました。

最後に、今回共有された知見と希望を総括して、中田理事長より「レダにおける今後の展望」が語られ、特に稚魚放流計画の意義が強調されました。

分科会では、各参加者が四つの中から好きなグループを選び、講師を囲んで質疑応答や意見交換をして、より親密な時間を持ちました。最後に後藤セミナー実行委員長が「天運を呼ぶことのできる歩みをなして行きましょう。皆さん、開拓20周年と共にレダで迎えましょう！」と訴え、午後五時に閉会しました。

参加者の感想 ●
（男性） 18年間本当にやつたことなんだ！と改めて感動しました。この運動の社会的な展開の奥にある現場の歩み、人間ドラマが見えて来ました。私もできる限り聞いて嬉しかったです。（女性）

ASDinNSA

HOME NEWS INFO PROJ. VIDEO PDF PHOTO MAP

一般社団法人
南北米福地開発協会

世界平和のための農業と開拓のための組織
Association for Sustainable Beverage
in the North and South Americas

生物多様性を守ろう

2005.7
2017.11.4 第1回パンナール一日研修会は、2017年11月4日(土)、川崎市の大山街道ふるさと館で開催されました。各課題、セミナー、スクリプトの講義ご出席します。第2回は、2018年4月4日(土)園主オリビエの記念青少年合唱セミナー開催する予定です。

2017.11.14 第1回パンナール一日研修会は、2017年11月4日(土)、川崎市の大山街道ふるさと館で開催されます。専門パネル

- ニュースをお知らせ
News and notice
- 南北米福地開発協会について
About ASDinNSA
- 活動の紹介
Projects and activities
- ビデオの館内
Video Library
- LEDA クイズ
Leda Quiz

- パンナーラー通信バックナンバー
Newsletters in PDF
- 写真アルバム
Photos
- リンク集
facebook links
- バラグアイ、チャコ地方 旅のしよう
Travel tips (画像版あり)
- Ano Leda! レダが好き!
I love Leda!

The screenshot shows the homepage of the ASDinNSA website. At the top is a large blue header with the text "ASDinNSA". Below it is a horizontal menu bar with blue rounded rectangular buttons containing white text: "HOME", "NEWS", "INFO", "PROJ.", "VIDEO", "PDF", "PHOTOS", and "MAP". The main title "活動の紹介" (Introduction to Activities) is centered in a yellow box with a decorative border, flanked by two sunflower illustrations. Below the title is the subtitle "Projects and activities". The page features a grid of nine items, each with an image and a caption. The items are: 1. "Tree planting" (A person in an orange shirt planting a tree), 2. "Sustainable pasture" (Horses grazing in a field), 3. "Agricultural experiment" (A large yellow melon growing on a vine), 4. "Support for schools" (A school building), 5. "International Youth Service" (Three young people smiling), 6. "Educational facilities" (A building with a sign that says "Educazione"), 7. A close-up image of purple Ipomoea rubens flowers, 8. A person holding a large fish, and 9. A "Membership" button with the text "お問い合わせフォーム" (Contact Form). Each item has a green circular icon with a white symbol to its left.

(一社)南北米福地開発協会ホームページ

同、活動の紹介のページ



一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821
FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

♦法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎日の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

◆ 入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。



ワタリオオキチョウ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局
office@asd-nsa.com
へお願いします。